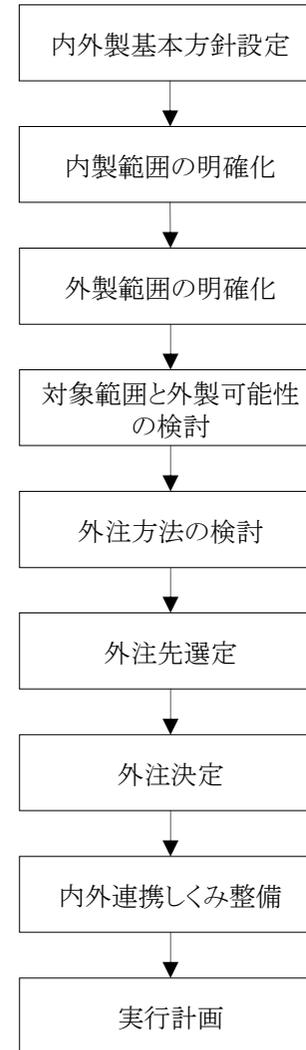


内外製の検討は、「何のために外部を活用するか」を明確にすることからはじめなければなりません。単純に外部を使うと安くなるという姿勢で外注活用を進めると、製造業としての重要な技術が全て外部に流出してしまう危険性があります。よって外注政策の基本は、「自社で行うべき業務は何か」を明確化することからはじめなければなりません。

内製基準を明確化し、適正な内製化を維持し、外注を有効に活用することが重要です。外注は自社にその製造技術を持たない、又持ちたくないものが対象になりますが、候補外注先のうち、適正な技術力、品質力、納入力、コスト力、管理力等を総合的に判断して選定する必要があります。

自社の戦略を確実にするためには、都度の取引先として考えるのではなく、継続的に取引の出来るように、常に新たな外注先の開発と選定、又は育成を行いつつ、自社の生産力の補完企業としてお互いの利益を確保できるようにすることが重要です。

展開ステップ



外注範囲体系表

